

新刊のご案内

6月中旬
発売予定

徳川



おてんば姫

井手久美子 著

小B6判 (112×174mm) ハードカバー192頁

久美子



二人の姉・高松宮妃殿下と榊原喜佐子の自伝書に続く、
徳川慶喜・末の孫娘による初の著作！

第六天での暮らし

慶喜終焉の地、小日向第六天町／第六天の子供たち
／「表」と「奥」の五十人／第六天のお正月／御授爵
記念日／おとと様とおた様

おひい様の学校

「金剛石 水は器」／やりにくい歴史の授業／修辞
会、体操会、遠足／御當日／葉山と軽井沢の夏休み
／有栖川御流／絵と写真

結婚と戦争

結婚／新婚生活／開戦／長男・長女の誕生と出征／
疎開／終戦／夫の戦死、娘との別れ／不思議な縁

戦後を生きる

目白での大家族暮らし／横浜の下町で開業／高松宮
邸官舎／世が世なら、嫡子風／高輪での暮らし／殿
下・妃殿下との思い出／第六天再訪



【井手久美子】大正11(1922)年、東京小石川区第六天町の徳川慶喜家にて父・徳川慶久と有栖川宮家から嫁いだ母・實枝子の四女として生まれる。姉は高松宮妃喜久子殿下、榊原喜佐子、兄は徳川慶光。

徳川慶喜終焉の地、小石川第六天町の徳川邸。
その屋敷で生まれ育った孫娘自身が綴る、戦前の華族の暮らし。
少女時代の夢のような生活から、変、結婚と戦争、夫との死別、再婚。
高松宮同妃両殿下はじめ皇族との交流、終戦後の奮闘。
波乱に満ちた人生を軽やかに駆け抜ける「おてんば姫」の自叙伝。

ご注文&お問い合わせは → 東京キララ社 TEL & FAX 03-3233-2228

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町2-20 暁ビル2F8号 (2016年秋に移転しました。電話FAXメールは変更ありません) / mail: order@tokyokirara.com

フリー入帳 【事前注文締切 6月5日】 (事前注文締切後は、6月13日以降順次搬入となります。ご了承下さいませ。) 6月12日搬入予定

番線印	ご希望者	希望数	ISBN978-4-903883-29-8 C0023	発行・発売: 東京キララ社
	月	冊	徳川おてんば姫 井手久美子 著	
	日		定価: 本体1,600円(税別)	